

令和5年度第1回木更津市総合教育会議 次第

日時：令和5年5月30日（火）

午後1時から

場所：Zoom会議

1 開 会

2 議 事

- (1) 木更津市第3次教育大綱施策カードの内容報告について
- (2) 公民館のあり方について

3 閉 会

木更津市第3次教育大綱施策カード

1 基本方針	①安心して子どもを産み育てられるまちを目指します。			主担当課	
2 基本施策	(1) 子どもの居場所・教育施設の環境整備			生涯学習課	
3 実施内容	ア. 放課後子ども教室、放課後児童クラブの充実			関係課	
				子育て支援課・こども保育課・教育総務課・学校教育課	
4 現状と課題	【放課後子ども教室】 ・放課後子ども教室は、地域住民や保護者等で構成される各小学校区放課後子ども教室運営委員会へ委託し実施している（7小学校区で7教室実施）。 ・地域住民らが主体の教室については、スタッフの高齢化が課題となり、保護者主体の教室については、子どもの卒業によるスタッフの入れ替えが頻繁なことから、スタッフ不足により運営が困難となるケースが発生する場合がある。 【放課後児童クラブ】 ・放課後児童クラブでは入所できない児童が発生しつつある。 ・国は、児童に安全・安心な活動場所を提供できるよう、学校の余裕教室や特別教室、学校敷地内の専用施設等の利用を促進するよう求めているが、本市の放課後児童クラブの多くは学校敷地外で開設されていることや、学校の余裕教室不足等による学校施設の活用が進まないこと等により、両事業の一体的な実施が難しい状況にある。 ・学校施設の活用については、健康こども部と教育委員会が協議をし、活用を促進していく。				
5 課題解決に向けた方向性・活動内容	【放課後子ども教室】 ・スタッフ不足については、必要に応じ各種ボランティアやまちづくり協議会、青少年育成市民会議等の団体へ協力を依頼し対応していく。 ・また、各教室間の連携強化や情報共有を図るため、定期的に連絡調整会議を実施する。 【放課後児童クラブ】 ・本市の放課後児童クラブは民設民営を推進しているため、引き続き運営費補助などを行い、事業を推進していく。 ・学校施設の活用については、健康こども部と教育委員会が協議し、活用を促進していく。				
6 指標	名称		年度	目標値	結果
				(各年度末時点)	
			R4 (現状値)	51	
	放課後児童クラブ設置数		R5	52	
			R6	53	
			R7	54	
R8			55		
7 令和5年度の活動予定	【放課後子ども教室】 放課後子ども教室については、運営を各小学校区放課後子ども教室運営委員会へ委託し、小学校区単位で活動を行う。 【放課後児童クラブ】 放課後児童クラブについては、環境改善のため施設改築に係る費用の補助を行う。				

木更津市第3次教育大綱施策カード

1 基本方針	①安心して子どもを産み育てられるまちを目指します。		主担当課	
2 基本施策	(1) 子どもの居場所・教育施設の環境整備		教育総務課	
3 実施内容	イ. 学校長寿命化計画による計画的な施設の改修		関係課	
			営繕課	
4 現状と課題	校舎や屋内運動場について、外壁の爆裂や雨漏り、上下水管の漏水や電気設備の不具合など、施設の老朽化が著しい状況である。 児童生徒が安心安全に利用できる教育環境を提供するため、施設を整備していく必要がある。			
5 課題解決に向けた方向性・活動内容	公共施設再配置計画に基づき令和3年6月に木更津市学校施設長寿命化計画を策定、劣化状況評価における健全度から対象校を選定し改修を行う。			
6 指標	名称	年度	目標値	結果
			(各年度末時点)	
	学校施設の長寿命化工事実績	R4 (現状値)		
		R5		
		R6		
		R7	1	
		R8		
7 令和5年度の活動予定	令和5年度から令和7年度の3ヵ年計画で波岡中学校校舎の長寿命化工事を行う。			

木更津市第3次教育大綱施策カード

1 基本方針	①安心して子どもを産み育てられるまちを目指します。	主担当課			
2 基本施策	(1) 子どもの居場所・教育施設の環境整備	教育総務課			
3 実施内容	ウ. 特別教室などの空調整備	関係課			
		営繕課			
4 現状と課題	特別教室も普通教室と同様、児童生徒の使用頻度が高く、健康管理上の要請から、全国的に特別教室への空調設備の設置が求められている。当市においても特別教室などについては空調設備は整っておらず、かかる整備を行い教育環境の改善を図ることが喫緊の課題である。				
5 課題解決に向けた方向性・活動内容	特別教室のうち、児童生徒の使用頻度の高い教室から空調整備を行っていく方針である。令和4年度は市内各小中学校に対し、特別教室への空調設備設置の必要性調査を行ったところである。				
6 指標	名称	年度	目標値	結果	
		(各年度末時点)			
	特別教室などの空調整備	R4 (現状値)			
		R5	対象設置計画の策定		
		R6			
		R7			
		R8			
7 令和5年度の活動予定	令和4年度に実施した特別教室への空調設備必要性調査を基に、各学校において空調設備を設置する教室を決定し、設置に向けて検討していきたい。				

木更津市第3次教育大綱施策カード

1 基本方針	①安心して子どもを産み育てられるまちを目指します。		主担当課	
2 基本施策	(2) 給食米100%オーガニック化・地産地消を取り入れた学校給食の提供		学校給食課	
3 実施内容	ア. 地元産の有機栽培米の提供の継続、促進		関係課	
			農林水産課	
4 現状と課題	11月1日から3月23日、市内公立小中学校30校の学校給食のご飯食の日に、有機栽培米「きさらづ学校給食米」を71日間提供した。 地元産コシヒカリとの差額補填の予算の確保に努める。 炊飯は、市外事業者に委託している。			
5 課題解決に向けた方向性・活動内容	有機米提供日数を生産量に合わせた提供ができるよう取り組む。 きさらづ特認校での自校炊飯について導入を検討していく。			
6 指標	名称	年度	目標値	結果
			(各年度末時点)	
	学校給食への木更津産有機米の提供割合	R4 (現状値)	53%	
		R5	61.9%	
		R6	70.9%	
		R7	85.8%	
		R8	100%	
7 令和5年度の活動予定	引き続き、経済部・生産者・事業者と連携を図り、給食米100%オーガニック化の推進に取り組む。 きさらづ特認校（鎌足小学校、中郷小学校）で有機米の提供時期に合わせ、自校炊飯の実施及び検討を行う。			

木更津市第3次教育大綱施策カード

1 基本方針	①安心して子どもを産み育てられるまちを目指します。	主担当課		
2 基本施策	(2) 給食米100%オーガニック化・地産地消を取り入れた学校給食の提供	学校給食課		
3 実施内容	イ. 地場産物を取り入れた給食の提供	関係課		
		農林水産課		
4 現状と課題	給食食材で使用した野菜くずを活用した循環型給食を鎌足地区で実施している。 特産品の「のり」、旬の野菜を取り入れた給食を提供するため、生産者、関係機関と連携を図り、学校と情報を共有している。 施設、設備の実状により地場産物の使用に制限が生じる。			
5 課題解決に向けた方向性・活動内容	献立作成に必要な流通のある野菜の情報を把握するため、関係機関と連携を図り、学校栄養士と生産状況等の情報共有を行うとともに、学校給食を活用した情報の発信をする。 各地域の実情に応じた地産地消の推進に取り組む。			
6 指標	名称	年度	目標値	結果
	学校給食に提供する千葉県産食材の使用割合 (6月・11月調査)	R4 (現状値)	38.10%	
		R5	40%	
		R6	45%	
		R7	50%	
		R8	55%	
7 令和5年度の活動予定	引き続き献立に活用できる食材を把握するため、関係機関と連携を図り、生産者の顔の見える、地域で生産された食材を学校給食で提供することで学校における食育の充実を図っていく。			

木更津市第3次教育大綱施策カード

1 基本方針	①安心して子どもを産み育てられるまちを目指します。			主担当課
2 基本施策	(2) 給食米100%オーガニック化・地産地消を取り入れた学校給食の提供			学校給食課
3 実施内容	ウ. 地産地消の推進に貢献できる新しい給食施設の整備検討			関係課
				営繕課・教育総務課
4 現状と課題	現在の学校給食施設については、全施設で築30年以上経過しており、築40年以上経過した施設は全体の約80%を占めており、各施設の改修には長期間を要する。 また老朽化した現在の施設では、学校給食衛生管理基準に準拠した衛生的で安全な給食の提供継続が難しい状況にあり、予期せぬ事故や故障が発生した場合、給食の提供が出来なくなる可能性がある。 以上のことから、安定した給食の提供を継続するためには、新しい給食施設を整備することが課題となっている。			
5 課題解決に向けた方向性・活動内容	・施設整備候補地を選定 ・施設整備に係る基本構想を策定 ・施設の建設			
6 指標	名称	年度	目標値	結果
			(各年度末時点)	
	給食施設の整備	R4 (現状値)		
		R5	候補地選定・基本構想策定	
		R6		
		R7		
		R8		
7 令和5年度の活動予定	給食施設整備に向けた候補地選定・基本構想の策定を行う。			

木更津市第3次教育大綱施策カード

1 基本方針	②子どもから高齢者まで自分の居場所を見つけられるまちを目指します。	主担当課		
2 基本施策	(1) 特色ある教育カリキュラムの推進	まなび支援センター		
3 実施内容	ア. 公民連携によるプログラミング教育の充実	関係課		
		オーガニックシティ推進課		
4 現状と課題	①令和4年7月に民間企業4社、高等学校2校、高等専門学校1校とプログラミング学習に関する連携協定を締結した。 ②8月に連携企業の方を講師として、夏季教職員研修（プログラミング学習の講座）を開催した。また、10月に行われた教職員向け力量向上を目的とした「授業改善フェスティバル」において、木更津高校の先生に鎌足小学校で授業を、教職員向けに木更津高専の先生に講演を行っていただいた。 ③連携企業の方に「プログラミング教室」（鎌足小学校・富来田小学校・中郷小学校）を行っていただいた。 ④年間計画の策定については、プログラミング学習自体が手探りの状態であったため、進んでいない。			
5 課題解決に向けた方向性・活動内容	①連携協定先と協議を重ね、どのような授業・研修が展開できるか協議していく。 ②上記③については、きさらづ特認校以外の学校でもプログラミング教室を実施できるようにしていく。 ③上記④については、各小中学校や高等学校と情報交換をし、策定の準備を進める。			
6 指標	名称	年度	目標値	結果
			(各年度末時点)	
	・出前授業の実施 ・小中高の接続したプログラミング学習に関する年間計画の策定	R4 (現状値)	出前授業 3回	
		R5	授業 4回	
		R6	授業 6回	
		R7	授業 8回	
R8		授業 10回		
7 令和5年度の活動予定	・夏季教職員研修において、研修講師を依頼する。 ・小学校において出前授業を実施する。			

木更津市第3次教育大綱施策カード

1 基本方針	②子どもから高齢者まで自分の居場所を見つけられるまちを目指します。	主担当課		
2 基本施策	(1) 特色ある教育カリキュラムの推進	学校教育課		
3 実施内容	イ. 小規模特認校に通学する児童生徒の増加への取組	関係課		
4 現状と課題	・要項を一部改正し、小規模特認校の通称を「きさらづ特認校」と定めた。 ・市内の各方面から小規模特認校に通えるように、スクールバスによる送迎を行っている。 ・児童・生徒数の増加を目指し、学校と地域の連携・協働によるコミュニティスクールのよさを生かした教育カリキュラムを検討する必要がある。			
5 課題解決に向けた方向性・活動内容	・小規模特認校としての活動内容及び学校の特色を周知するための発信方法について検討する。 ・市内のどこからでも小規模特認校に通えるように、保護者のニーズを踏まえつつ、スクールバスによる送迎ルートを年度ごとに検討する。			
6 指標	名称	年度	目標値	結果
			(各年度末時点)	
	小規模特認校の児童、生徒数	R4 (現状値)	小学校 417人 中学校 141人	
		R5	小学校 425人 中学校 145人	
		R6	小学校 435人 中学校 150人	
		R7	小学校 445人 中学校 155人	
		R8	小学校 450人 中学校 160人	
7 令和5年度の活動予定	・小規模特認校としての活動内容及び学校の特色を市のFacebookを通して発信する。 ・コミュニティスクールの拡充の検討を行う。			

木更津市第3次教育大綱施策カード

1 基本方針	②子どもから高齢者まで自分の居場所を見つけられるまちを目指します。	主担当課		
2 基本施策	(2) スポーツを通じた児童・生徒の健康増進	スポーツ振興課		
3 実施内容	ア. 江川総合運動場の児童生徒による利用促進	関係課		
		学校教育課		
4 現状と課題	①子どもが運動する場所の提供として、気軽に運動ができるちびっこ広場や今年度4月に供用開始した第1野球場、8月より供用開始予定のサッカー場をはじめとした、大規模施設である江川総合運動場の利用を促していきたいところである。 ②江川総合運動場の周知、利用促進を図ることが課題である。 ③小中体連主体の陸上大会や陸上記録会を江川総合運動場陸上競技場にさらに多く誘致したいところだが、駐車場やトイレ不足等の課題がある。			
5 課題解決に向けた方向性・活動内容	①市のイベント等を江川総合運動場で行い、施設の周知と利用の促進を目指す。 ②駐車場の拡充及び仮設トイレの設置などにより、施設利用者の利便性の向上を図る。			
6 指標	名称	年度	目標値	結果
			(各年度末時点)	
	江川総合運動場利用者数（全世代）	R4 (現状値)	32,136	
		R5	43,000	
		R6	44,000	
		R7	45,000	
		R8	46,000	
7 令和5年度の活動予定	4月に新設される第1野球場、8月に新設されるサッカー場のオープニングイベントを行う。 令和4年度までは市民元旦マラソン大会を矢那川ダムで行っていたが、木更津市民新春マラソン大会へ名称を変え、江川総合運動場を利用して大会を行う。			

木更津市第3次教育大綱施策カード

1 基本方針	②子どもから高齢者まで自分の居場所を見つけられるまちを目指します。		主担当課		
2 基本施策	(2) スポーツを通じた児童・生徒の健康増進		スポーツ振興課		
3 実施内容	イ. 子どもがスポーツに触れる機会の提供		関係課		
			学校教育課		
4 現状と課題	①日々の生活の中で、外で体を動かす遊びが習慣化されるように、子どもが自ら体を動かして遊ぶことに興味や意欲を持てるような働きかけが重要である。 ②運動する児童生徒としない児童生徒の二極化が進み、体力格差の広がりが懸念される。				
5 課題解決に向けた方向性・活動内容	①親子で楽しめる遊びやスポーツ体験などの機会を通じて、子どもの運動習慣や体力づくりを図る。 ②児童とその保護者を対象に「チャレスポ in KISARAZU」を開催し、スポーツにチャレンジする機会の提供や優れたスポーツ選手との交流を通じて、地域のスポーツ活動の促進を図る。				
6 指標	名称		年度	目標値	結果
			(各年度末時点)		
	チャレスポ in KISARAZU (※親子参加事業のため、保護者人数含む)		R4 (現状値)	734	
			R5	750	
			R6	800	
			R7	850	
R8			900		
7 令和5年度の活動予定	市制施行80周年事業として令和4年度に初実施をし、今年度は、12月9日(土)、10日(日)の2日間の開催を予定する。 世界大会の開催などにより注目が集まる種目を含めたスポーツ体験教室の他、観戦形式のパフォーマンスによる「みるスポーツ」の機会を設け、子どもたちがスポーツに触れる機会の提供をする。				

木更津市第3次教育大綱施策カード

1 基本方針	②子どもから高齢者まで自分の居場所を見つけられるまちを目指します。			主担当課	
2 基本施策	(2) スポーツを通じた児童・生徒の健康増進			学校教育課	
3 実施内容	ウ. 中学部活動の地域移行の検討			関係課	
				スポーツ振興課・生涯学習課・文化課	
4 現状と課題	地域移行をするにあたって、指導者の確保・活動場所の確保、協議会の立ち上げなど課題は山積している。また、教職員の兼職兼業の意向や、子どもたちの意識や要望等の実態把握をすることも今後考えていく必要がある。さらに、地域移行をした場合に必要な予算の検討などを行っていく。併せて、文化部活動の地域移行についても検討していく。				
5 課題解決に向けた方向性・活動内容	令和4年度から庁内の会議を持ち、継続して行っている。各課(スポーツ振興課・文化課・生涯学習課・学校教育課)で収集できる情報を持ち寄り、来年度の協議会立ち上げに向けて進めていく。また、近隣他市との情報共有、及び国や県の動向を注視しながら、本市の取組を進めていく。				
6 指標	名称	年度	目標値	結果	
			(各年度末時点)		
		R4 (現状値)			
		R5	庁内で地域移行の準備(他団体からの聞き取りを含む。)		
		R6	「(仮称)木更津市部活動地域移行協議会」を設置し、協議		
		R7以降	休日のみ、可能な活動を地域へ移行していく。		
7 令和5年度の活動予定	市内12校すべての中学校を訪問し、各顧問からのヒアリングを通して部活動の実態調査・地域移行に向けての課題等の把握を行う。また、学校施設を使用して活動している団体や公民館等で活動しているサークル団体等の把握を行う。今年度は、学校教育課、スポーツ振興課・生涯学習課・文化課、それぞれで必要に応じてヒアリングを実施する。				

木更津市第3次教育大綱施策カード

1 基本方針	②子どもから高齢者まで自分の居場所を見つけられるまちを目指します。	主担当課		
2 基本施策	(3) 継続的な学びを支える公民館の充実	生涯学習課		
3 実施内容	ア. 公民館長寿命化計画の策定及び老朽化対策の推進	関係課		
		中央公民館・営繕課		
4 現状と課題	公民館（附属体育館含む）については築30年を超える建物が7割。空調設備や浄化槽等の施設の老朽化が進んでいるため、関係課と協議しながら、効率的な整備を進めていく。公民館は災害時避難所となるため、耐震及びライフラインに係る整備及びバリアフリー化等が必要となる。			
5 課題解決に向けた方向性・活動内容	社会教育施設個別施設計画の効率的な運用を行うため、上位計画との整合性を図りながら適正な規模及び配置のあり方等を総合的に判断し、全庁的な体制で施設の再整備に取り組む。必要に応じて、社会教育委員会等にて協議する。			
6 指標	名称	年度	目標値	結果
	社会教育施設個別施設計画の中の建物の健全度と築年数をもとに、マネジメント部門、企画部門と連携し、今後の社会情勢を踏まえ、関係部署と令和6年度以降協議し、全庁的な体制で施設の再整備を行う。	R4 (現状値)	(各年度末時点)	
		R5		
		R6		
		R7		
		R8		
7 令和5年度の活動予定	既に、空調設備が故障している岩根公民館及び富岡公民館について修繕を予定している。			

木更津市第3次教育大綱施策カード

1 基本方針	②子どもから高齢者まで自分の居場所を見つけられるまちを目指します。		主担当課	
2 基本施策	(3) 継続的な学びを支える公民館の充実		生涯学習課	
3 実施内容	イ. 公民館の自習スペースやフリースペースづくりの推進		関係課	
			中央公民館	
4 現状と課題	中央公民館では、空きスペースを利用して「自習＆ワークスペース」を開設している。学生や社会人が多く利用し、概ね満足度は高いが定期テスト前などは満席になり、利用を断っていることが課題である。他の公民館では、施設や地域の実情に合わせて「フリースペース」を開設し、公民館利用者の拡大を図っている。施設の立地面など対象や内容の設定に苦労しているのが課題となっている。			
5 課題解決に向けた方向性・活動内容	それぞれのニーズをとらえ、「参加者層を拡大する」ことを目的に、様々な手法で試行錯誤している。中央公民館の「自習＆ワークスペース」は、現状維持を図っていく。			
6 指標	名称	年度	目標値	結果
			(各年度末時点)	
	各公民館で開設する「フリースペース」の数	R4 (現状値)	10	
		R5	11	
		R6	12	
		R7	13	
		R8	15	
7 令和5年度の活動予定	中央公民館：自習＆ワークスペースの開設。 各公民館：施設や地域の実情にあわせた「フリースペース」の開設。			

木更津市第3次教育大綱施策カード

1 基本方針	②子どもから高齢者まで自分の居場所を見つけられるまちを目指します。			主担当課
2 基本施策	(4) 文化芸術拠点施設の整備推進と文化財の価値や魅力の創造			地域政策室
3 実施内容	ア. 文化芸術活動の拠点施設の整備促進及び中央公民館並びに図書館の複合化			関係課
				総務課・子育て支援課・こども発達支援課・こども保育課・生涯学習課・図書館・中央公民館
4 現状と課題	・市民会館大ホール及び集会棟の利用停止により、市民の芸術文化活動の成果の発表や、市民活動の場が限られている。 ・中央公民館は、スパークルシティ木更津に仮移転していることから、避難所に指定されていない。また、駐車場からの距離が離れているなどアクセス性に課題がある。 ・図書館は、建物の老朽化や資料保管スペース及び閲覧席数の不足、バリアフリー化が課題となっている。			
5 課題解決に向けた方向性・活動内容	・「木更津市中規模ホール整備基本構想」の基本理念等を踏まえ、「木更津飛行場周辺まちづくり基本構想」等において、芸術文化活動の発表の場となる文化芸術拠点施設の具体的な整備内容や複合化の検討を進める。 ・文化芸術拠点施設については、指定避難所など災害時の防災拠点としての機能をもうけるとともに、十分な駐車場整備やアクセス性確保の検討を進める。 ・中央公民館については、複合化による施設の相互利用促進に向けた検討を進める。 ・図書館については、新木更津市立図書館整備計画を踏まえ、資料保管スペースの確保や視認性に優れた書架スペースを整備するとともに、複合化による利用者層の拡大や他機能との連携強化の検討を進める。なお、文京地区にある図書館については、図書館機能移転後、子育て世代の支援をより一層強化するための子育て支援施設を検討する。			
6 指標	名称	年度	目標値	結果
		(各年度末時点)		
		R4 (現状値)		
		R5	まちづくり実施計画 (吾妻公園) 策定	
		R6	文化芸術拠点施設 基本設計	
		R7	文化芸術拠点施設 実施設計	
		R8	文化芸術拠点施設 建設工事着手	
7 令和5年度の活動予定	「木更津飛行場周辺まちづくり基本構想」、「同基本計画」を踏まえ、吾妻公園における文化芸術拠点施設等のより具体的な施設構成などを検討する「木更津飛行場周辺まちづくり実施計画(吾妻公園)」を策定する。			

木更津市第3次教育大綱施策カード

1 基本方針	②子どもから高齢者まで自分の居場所を見つけられるまちを目指します。	主担当課		
2 基本施策	(4) 文化芸術拠点施設の整備推進と文化財の価値や魅力の創造	文化課		
3 実施内容	イ. 金鈴塚古墳出土品国宝化を目指した市民意識高揚への取組	関係課		
		郷土博物館金のすず		
4 現状と課題	文化財を保護と継承し、多くの市民に古墳に関心を持ってもらい現地で見ていただくため、継続的に古墳と周辺の整備を実施している。また、博物館では古墳出土品を展示し、その重要性を伝えることに努めている。より多くの方に古墳や古墳出土品の関心を寄せていただけるような周知方法の検討、博物館への来館者を増やすためにどう取り組むかが課題。			
5 課題解決に向けた方向性・活動内容	SNS等を活用し、観光振興とも連携した広報活動を行うことで博物館の集客につなげる。博物館を市民交流の場になるような事業展開。			
6 指標	名称	年度	目標値	結果
			(各年度末時点)	
		R4 (現状値)	6,824	
	郷土博物館金のすず入館者数	R5	9,000	
		R6	10,000	
		R7	11,000	
		R8	12,000	
7 令和5年度の活動予定	文化課では、郷土の歴史を学ぶ授業で副教材として利用可能な、金鈴塚古墳周知資料を作成し、市内小学校の対象児童に配布する。識者による金鈴塚古墳に関する講演会を開催する。千葉県指定史跡 金鈴塚古墳と来訪者用の駐車場整備工事を実施する。郷土博物館金のすずでは、教育普及事業として金鈴塚古墳に関する講座を開設する。			

木更津市第3次教育大綱施策カード

1 基本方針	③多様性を認め合い、尊重できるまちを目指します。	主担当課		
2 基本施策	(1) いじめ、暴力、虐待、差別のない共生社会の実現	学校教育課		
3 実施内容	ア. 友好都市の小中学校との交流による国際理解教育の推進	関係課		
		オーガニックシティ推進課		
4 現状と課題	・令和3年度には、ダナン市の学校と富来田小中学校がオンライン交流会を行った。 ・ダナン市以外の友好都市や姉妹都市について、各学校で認知されていない。			
5 課題解決に向けた方向性・活動内容	・木更津市合同生徒会の取組の一つとして、一人一台タブレットを活用し、ダナン市との交流の場を設ける。 ・友好都市を各学校に周知し、それぞれの学校の希望により活発にオンライン交流を行うことができるシステムを、オーガニックシティ推進課と連携して構築する。			
6 指標	名称	年度	目標値	結果
			(各年度末時点)	
	オンライン交流回数	R4 (現状値)	0	
		R5	2	
		R6	3	
		R7	4	
		R8	5	
7 令和5年度の活動予定	・ダナン市の「ダナン越日フェスティバル2023」において開催される、友好都市の子どもたちの絵画展へ展示する中学生のアート作品を画像提供する。			

木更津市第3次教育大綱施策カード

1 基本方針	③多様性を認め合い、尊重できるまちを目指します。	主担当課			
2 基本施策	(1) いじめ、暴力、虐待、差別のない共生社会の実現	学校教育課			
3 実施内容	イ. いじめをなくす、起こさない取組の推進	関係課			
4 現状と課題	・いじめの解消率が、小学校で70.5%、中学校で64.5%という現状がある。 ・年間35時間の道徳の時間を確保している。 ・SNSによるトラブルが増えているとともに、いじめの解決が困難なケースが増加している。				
5 課題解決に向けた方向性・活動内容	・いじめを早期発見、早期対応するために、「いじめに係るアンケート」・「教育相談」を各学期に1回以上実施するよう推奨する。 ・いじめ解消に向けた児童生徒の自治的活動を推奨する。				
6 指標	名称	年度	目標値	結果	
			(各年度末時点)		
	いじめの解消率	R4 (現状値)	小学校 70.5% 中学校 64.5%		
		R5	小学校 71% 中学校 65%		
		R6	小学校 72% 中学校 66%		
		R7	小学校 73% 中学校 67%		
		R8	小学校 74% 中学校 68%		
7 令和5年度の活動予定	・いじめを早期発見、早期対応するために、「いじめに係るアンケート」・「教育相談」を各学期に1回以上実施するよう推奨する。また、学校全体でいじめの実態を把握するため情報共有の体制を構築できるよう支援する。				

木更津市第3次教育大綱

令和5年2月3日

1 趣旨

平成27年4月から施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律では、市長と教育委員会から構成する総合教育会議を設置することが義務付けされました。

また、同会議において、地域の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとされ、本市では平成27年11月に木更津市教育大綱を、令和元年4月に木更津市第2次教育大綱を策定し、市長と教育委員会が連携してそれぞれの施策を進めてきました。

この間、高度デジタル社会やSDGs達成への対応、また「新しい生活様式」を踏まえた学校教育の継続が求められるなど、教育を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした状況を考慮しつつ、市長と教育委員会が協議、調整のうえ、新たな教育大綱を定めるものです。

2 大綱の位置づけ

市長は、「木更津市総合計画第3次基本計画」を、教育委員会は、教育振興の基本計画である「第3期木更津市教育振興基本計画」を所管し、施策を推進しています。

この教育大綱は、市長が、特に重点的に教育委員会と連携して進めるべき事項について、総合教育会議における協議を経て定めたものです。

3 計画期間 令和5年4月から令和9年3月まで

4 基本目標

「将来につなぐ、地域をつなぐひとづくり」

本市は、子育て支援や教育環境の充実により、将来を担う子どもたちを育むとともに、自分の住むまちをより良いものにしていくと地域の人たちを支えています。

5 基本方針

- ①安心して子どもを産み育てられるまちを目指します。
- ②子どもから高齢者まで自分の居場所を見つけられるまちを目指します。
- ③多様性を認め合い、尊重できるまちを目指します。

6 基本施策

- ①安心して子どもを産み育てられるまちを目指します。
 - (1) 子どもの居場所・教育施設の環境整備
 - (2) 給食米100%オーガニック化・地産地消を取り入れた学校給食の提供
- ②子どもから高齢者まで自分の居場所を見つけられるまちを目指します。
 - (1) 特色ある教育カリキュラムの推進
 - (2) スポーツを通じた児童・生徒の健康増進
 - (3) 継続的な学びを支える公民館の充実
 - (4) 文化芸術拠点施設の整備推進と文化財の価値や魅力の創造
- ③多様性を認め合い、尊重できるまちを目指します。
 - (1) いじめ、暴力、虐待、差別のない共生社会の実現

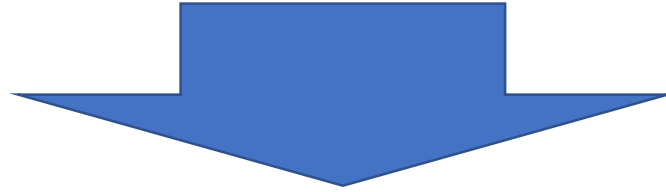
令和4年度 木更津市業務プロセス分析業務の結果より

○地域コミュニティ政策の推進部門が不在

○公民館の稼働状況が年々悪化

(公民館の施設稼働率を確認したところ、15館中12館が50%以下の稼働状況)

○地域特有の課題は、地域が主体となって取り組むことが求められていく



今後の公民館は、学習の場としてのみならず、地域活動の拠点としての役割も期待されることから、地域活動団体など地域が主体となって運営することで、自らの地域課題に必要な講座の企画・開催や、学習成果を活かした課題解決活動の企画・実施などを推進する必要がある。

今後の方向性としては、公民館を市長部局に移管し、地域が主体となった地域自治・地域コミュニティ拠点としての機能を再編・整備することが本市まちづくりに望ましい。

公民館のコミュニティセンター化について

地域・住民 ニーズ

- ・公民館で地域づくりに繋がる活動・物販をしたい。
- ・福祉事業にも利用したい。
- ・放課後の学習の場として利用したい。

しかし！現在の公民館では、社会教育法の規定により、内容によっては対応できない！
社会の変化に対応した、住民の使いやすい施設としてのあり方を検討する必要がある！

目指す施設

- ・住民にとってより有効に使える施設
- ・地域づくりに役立つ施設
- ・引き続き生涯学習が推進できる施設



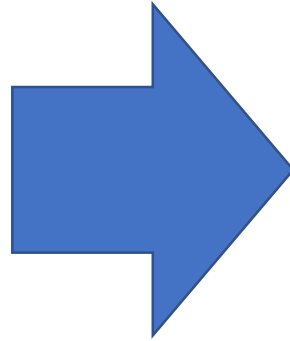
公民館利用における可能性の拡大

公民館のコミュニティセンター化について

社会教育法
生涯学習



地域住民ニーズ
・地域づくり
・地域交流 等



生涯学習
(社会教育)



地域住民ニーズ
・地域づくり
・地域交流 等

コミュニティセンター移行で可能となる具体例

- 【生涯学習】・・・公民館と同様に引き続き生涯学習を推進することができる。
- 【住民活動】・・・地域づくり、地域交流の活性化に繋がる利用
 - ・地域で採れた野菜などの有償提供
- 【子育て支援】・・・子育て支援・子育て交流の場として活用
 - ・児童・生徒の自主学習の場の提供 子育て交流フリーマーケットやバザーの開催
- 【健康支援】・・・介護予防に繋がる支援・交流の場などに活用
 - ・介護予防に繋がる各種健康事業
- 【貸し館等】・・・貸し館による有料イベント等に活用
 - ・有料イベントや商工会、商店会、個人商店の会議等 など



公民館の利用状況等

(単位：回・人)

		令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	R4／R3	R3／R2	R2／R元
中央	利用回数	2,326	1,607	1,040	2,548	144.7%	154.5%	40.8%
	利用者数	26,059	17,081	12,229	39,570	152.6%	139.7%	30.9%
	稼働率		31.6%	27.8%	48.8%		113.6%	57.1%
富来田	利用回数	1,498	733	385	991	204.4%	190.4%	38.8%
	利用者数	14,956	6,960	3,795	11,513	214.9%	183.4%	33.0%
	稼働率		11.1%	8.8%	13.0%		125.5%	67.8%
岩根	利用回数	830	656	377	935	126.5%	174.0%	40.3%
	利用者数	7,961	5,695	3,366	11,883	139.8%	169.2%	28.3%
	稼働率		16.3%	13.6%	22.7%		119.7%	59.9%
鎌足	利用回数	442	646	419	895	68.4%	154.2%	46.8%
	利用者数	10,845	5,900	3,640	15,889	183.8%	162.1%	22.9%
	稼働率		16.9%	12.5%	21.4%		134.9%	58.5%
中郷	利用回数	837	838	446	1,229	99.9%	187.9%	36.3%
	利用者数	7,299	5,814	3,312	10,837	125.5%	175.5%	30.6%
	稼働率		24.6%	11.2%	27.6%		219.2%	40.6%
富岡	利用回数	226	194	120	209	116.5%	161.7%	57.4%
	利用者数	2,469	1,681	673	1,676	146.9%	249.8%	40.2%
	稼働率		7.8%	7.6%	9.6%		102.1%	79.1%
文京	利用回数	1,716	1,375	755	1,897	124.8%	182.1%	39.8%
	利用者数	14,147	9,770	5,787	20,143	144.8%	168.8%	28.7%
	稼働率		38.8%	32.6%	59.8%		119.0%	54.5%
八幡台	利用回数	1,570	1,261	660	1,631	124.5%	191.1%	40.5%
	利用者数	20,536	13,473	6,511	21,799	152.4%	206.9%	29.9%
	稼働率		34.4%	20.4%	48.0%		168.6%	42.5%
東清	利用回数	835	633	379	905	131.9%	167.0%	41.9%
	利用者数	9,835	6,526	3,818	12,322	150.7%	170.9%	31.0%
	稼働率		18.8%	15.5%	27.8%		121.5%	55.7%
清見台	利用回数	1,337	1,567	812	2,217	85.3%	193.0%	36.6%
	利用者数	14,280	18,131	10,874	35,016	78.8%	166.7%	31.1%
	稼働率		23.0%	17.4%	43.5%		131.6%	40.1%
畑沢	利用回数	1,961	1,671	1,044	2,204	117.4%	160.1%	47.4%
	利用者数	19,705	19,073	10,660	27,950	103.3%	178.9%	38.1%
	稼働率		32.9%	29.9%	54.5%		109.9%	54.8%
岩根西	利用回数	996	786	446	1,340	126.7%	176.2%	33.3%
	利用者数	12,483	9,113	4,525	16,661	137.0%	201.4%	27.2%
	稼働率		18.4%	15.3%	33.6%		120.0%	45.6%
西清川	利用回数	1,289	994	477	1,250	129.7%	208.4%	38.2%
	利用者数	10,361	7,363	3,083	12,452	140.7%	238.8%	24.8%
	稼働率		22.4%	13.0%	27.5%		173.3%	47.1%
波岡	利用回数	1,690	550	563	1,945	307.3%	97.7%	28.9%
	利用者数	19,062	5,404	6,499	24,830	352.7%	83.2%	26.2%
	稼働率		24.6%	22.4%	50.4%		109.9%	44.4%
桜井	利用回数	1,661	1,086	609	1,971	152.9%	178.3%	30.9%
	利用者数	19,482	12,211	5,904	30,322	159.5%	206.8%	19.5%
	稼働率		30.9%	21.0%	43.8%		147.2%	47.9%
合計	利用回数	14,118	10,955	6,311	16,798	128.9%	173.6%	37.6%
	利用者数	149,659	108,559	61,646	214,008	137.9%	176.1%	28.8%
	稼働率 (単純平均)		25.1%	18.8%	38.7%		134.0%	48.4%

サークル登録数・人数の推移

(単位：団体・人)

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	R4／H30	R3／H30	R2／H30	R元／H30
サークル数	643	625		723	779	82.5%	80.2%		92.8%
サークル参加人数	10,127	9,924		11,445	12,484	81.1%	79.5%		91.7%

※令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、全体集計をとれなかったため、数値なし。